

特集 「国立特別支援教育総合研究所における インクルーシブ教育システム構築に関する研究」について

原 田 公 人

(企画部)

本研究所は、特別支援教育のナショナルセンターとしての役割を踏まえて、障害のある子ども一人一人の教育的ニーズに対応した教育の実現に貢献することを目的とし、国の政策的課題や教育現場の喫緊の課題に対応した研究を精選、重点化して実施している。

研究の実施に当たっては、研究の内容により、特定の障害種別によらない総合的課題、障害種別共通の課題に対応した研究(専門研究A)、障害種別専門分野の課題に対応した研究(専門研究B)、専門研究A、また、専門研究Bにつなげることを目指して実施する予備的、準備的研究(専門研究D)という区分を設けている。

専門研究A、専門研究Bのうち、特に重要度の高い研究を「重点推進研究」として取り組み、教育制度・システムに関する調査・研究や先導的な指導方法の開発に係る研究など、国として特別支援教育を推進していくために政策上重要性の高い課題に対応した研究や、障害のある子どもの教育内容・方法等に関する調査・開発研究など、教育現場等で求められている喫緊の課題に対応した実際的研究を実施している。

また、特別支援教育の推進に関わり、研究所として実施が望まれる研究課題等について全国都道府県教育委員会、特別支援教育センター等からのご意見等を踏まえ、新規研究を計画立案するための参考としている。具体的には、これまで、インクルーシブ教育システム構築に向けた地域のネットワークの在り方、実際的な連携の在り方、小中学校内の組織づくりや指導体制、教育課程、指導方法、支援方法の工夫等に関する研究を望むという意見が多数あり、本研究所では中期特定研究課題制度(平成23～27年度)を設け、①インクルーシブ教育システムに関する研究、②特別支援教育におけるICTの活用に関する研究という二つのテーマに係る研究について、この制度の枠組の下で実施している。

このうち、「インクルーシブ教育システムに関する研究」については、平成23～24年度中期特定研究<重点推進研究>として、「インクルーシブ教育システムにおける教育の専門性と研修カリキュラムの開発に関する研究」及び「インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別な支援を必要とする児童生徒への配慮や特別な指導に関する研究」を行った。

前者については、インクルーシブ教育システムを構築していくための研修に必要な要素や関係者に求められる専門性の考え方について整理し、関係機関への情報提供を行うことを目的として行った。

また、後者では、今後のインクルーシブ教育システムの構築に向けた、障害のある児童生徒への望ましい配慮や指導方法等を、実践例として提示することを目的として実施したところである。

本稿では、上記2研究の成果の一端を報告する。なお、これらについては、研究成果報告書として、各関係機関に配布しており、本研究所のWEBサイトにも掲載してあるので、詳細については、これらを閲覧されたい。

現在、本研究所では、これらの研究を踏まえ、その発展的研究として、専門研究A「インクルーシブ教育システム構築に向けた取組を支える体制づくりに関する研究」(平成25～26年度)を進めている。これらの研究が、我が国における今後のインクルーシブ教育システムの構築に寄与することとなれば幸甚である。